

学生へのメッセージ（アンケートを通して届けられた学生からの声）

授業科目名	教員名	2022年度春学期 曜日・時限
1 英語 I PH-R	越智健太郎	火曜・4限、金曜・3限
<p>【学生からの声】</p> <p>火曜・金曜、両方とも授業が楽しかったと感じる。mreaderの基準をもう少し下げてもらえると、取り組みやすくなる。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>Mreaderは多読課題のことであり、1学期で2万語読むことを目標としていた。週1500語（平均的な新聞記事が300-500語を平日に1日1本程度）読めば、クリアできる語数であるし、図書館で本を借りなくても代替案としてオンライン上で文章を読む方法も提示したので基準を下げるつもりはない。多読は語彙習得をする効果的な方法の一つなので頑張ってほしい。</p>		
2 専門基礎演習（2年ゼミ）	常葉美穂	火曜・3限
<p>【学生からの声】</p> <p>Phonicsについて一から学ぶことができたこと、テキストにはいろいろな工夫がされていたことなど、すべての内容が魅力的で面白かった。プレゼンではいろいろな団体や企業がわかりやすい動画を挙げていることを知ることができて、とても良い勉強になった。ありがとうございました。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>Phonics（英語教授法の1つ）そのものの他に、世界中の様々な組織が動画を作成・公開している現実に直接触れられたことが良かったようです。今後も、現実世界を読むゼミを続けていきたいと感じました。</p>		
3 日本文化基礎ⅩⅠ（日本の物語絵）	稲本万里子	月曜・3限
<p>【学生からの声】</p> <p>指定図書が多く、家で読めない本が多かったので、少し貸し出しができる参考文献の本が増えたらいいなと思いました。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>指定図書になっている本は入門書です。試験勉強のときに必要になるため、貸し出し不可にしています。指定図書以外にも、配付資料にはたくさんの参考文献を載せていますので、ぜひそちらを借りて読んでください。</p>		
4 社会園芸論	澤登早苗	木曜・1限
<p>【学生からの声】</p> <p>期末課題を出すのが遅すぎる</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>期末課題は、授業とは別に何か新し資料や特別なものを調べてまとめなければならないものではなく、毎回の授業や授業で配布した資料を振り返りながら、最終的に自分の考えをまとめてもらうものとしている。そのため、授業をしっかりと最後まで聞いて欲しいことから、あえて期末課題を出す時期を14週目か15週目とし、提出期間もその分遅くしている。授業の中でもそのような説明は何度かしているつもりであるが、少数であっても意図が伝わっていない学生がいるようなので、今後も丁寧に説明していきたいと思う。</p>		

学生へのメッセージ（アンケートを通して届けられた学生からの声）

授業科目名	教員名	2022年度春学期 曜日・時限
5 生活園芸Ⅰ	菊地 牧恵	月曜・1限
<p>【学生からの声】</p> <p>草花検定5級の草花の写真を撮ってノートに貼るとするのは、時間がない人にはあまり向かないのかなと思いました。先生方が「この花はこの写真で」と紙で配っていただいた方が、学生的にもやりやすいのではないかなと感じます。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>花壇で実物を観察すること、自分で調べることが大切であることを伝える。</p>		
6 生涯就業力STEPⅦ	関本 恵美子	木曜・3限
<p>【学生からの声】</p> <p>就活で忙しい最終学年の授業に学外授業を入れるのは適切ではない。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>恵泉蓼科ガーデン訪問は、事前に日程変更も受け付けているため、就活の妨げにならないようにも調整可能。恵泉蓼科ガーデン訪問に出席した大半の学生が大切な時となったと感じていることを事前にしっかり伝える。</p>		
7 日本語教育概論Ⅰ	栗田奈美	水曜・5限
<p>【学生からの声】</p> <p>日本語教師になるために、能力や知識だけでなく、他国の文化や教授法についても学ばなければならないと同時に、他文化について興味を持つようになりました。また、先生が悪いというわけではありませんが、この授業で、少し生徒の話し声が気になりました。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>教員のクラスコントロールが不十分だったために、意欲のある学生に不愉快な思いをさせてしまっていた点を反省している。受講生は50名ほどで大きい教室（C302）を使用していたこともあり、注意はしていたものの十分に目が届いていなかった。グループワーク等で教壇から降りる機会が多いが、今後は一人一人の学生の様子に、より注意をしていきたい。</p>		
8 日本語能力Ⅰ	野崎有以	月曜・3限
<p>【学生からの声】</p> <p>少し説明が分からないことがあった。</p> <p>【教員からのメッセージ】</p> <p>必修の授業で学生の習熟度に差がみられた。とにかく全員がレポートを書けるようにしなくてはとの思いから、重要な箇所は何度も繰り返し授業で取り上げた。「レポートの書き方を徹底してくれたのですごく分かりやすかったです」という意見もみられた。学期の途中で学生に直接聞いたところ、少し説明がわからないところがあったとに答える学生がいたため、最終的に個別指導のような形をとって取りこぼしのないように努めた。レポートが書けるかどうかによって、その後の学生生活を左右することになるので、今後も履修者全員がレポートの基本事項をマスターできるようにしたい。</p>		